

H26.10.26

# 古民家 交流もよう



「たまには交流メインの肩肘張らない会議はどう？」「誰かのお宅でアットホームな会議をやりたいね」「それなら、うちでどう？」「そんなやりとりの中、難病連理事の小池さん宅で交流会が行われることになりました。その名も「古民家交流会」。小池さんのお宅は古民家というよりも、お屋敷という感じでしたが、素敵なお宅という意味を込めて、「古民家」という呼び名を使わせていただきました。

秋晴れの日、総勢30人が小池さんのお宅を訪れました。この日のために、小池さんと娘の裕紀さんとで、早朝よりお昼ご飯の準備にとりかかってくれたため、早くも室内はいいにおいでいっぱい。2月に行われるRDDの打合せ

い！」などなど。おいしいおかずをおともに会話が弾み、いろいろな患者会の人同士が楽しくしゃべりながらお話しする姿がこちらで見られました。また、取り分けや片付けなどのお手伝いをいろいろして下さる姿も見られ、とても心強かったです。

その後は、希望者による小池さん宅の畑でのいも掘り。「お休みを休んで小学校でできなかったから、いも掘りが楽しみなんです！」と言うのは、小学生の男の子を連れのお父さん。100株が植えられたいも畑では、次々に掘り起こされたいもが土中より顔を出し、男の子は大きないもを手を駆け回っていました。いもはとてとてもたくさん掘れたので、参加者のおみや

などの会議を滞りなく済ませ、待ちに待ったランチタイム。酢豚やエビチリ、肉巻、煮物…すべてお伝えできないのが残念。バイキング形式で大皿に並べられたお手製のおかずが所狭しと並べられると、まずは歓声が上がります。そしていざ食べると、「おいしい！」「これどうやって作るの？」「おかわりした

げになり、皆さんとても喜んでいました。

参加者からは後日、「小池さんのお家でゆっくりできたし、ごはんとってもおいしかった」「またこういう会をやってー」などというお声が事務局に届けられました。会議室を使いたいもの会議もいいのですが、たまには気分を変えて行う、こういった交流メインの会議もいいものだなあと思いました。小池さんのお骨折りに感謝です！



(岩崎)